

生涯学の挑戦

—超高齢社会の中で最適に生きるために—

2019年3月16日(土)13:00~18:00

角間キャンパス総合教育講義棟A1講義室

開会の挨拶 13:00~

大竹茂樹(金沢大学理事・副学長・国際基幹教育院長)

はじめに

松井三枝(国際基幹教育院GS教育系教授) 趣旨「生涯学の挑戦について」

前半の部 13:30~

「MRIを用いた脳機能・脳構造解析」

斎藤大輔(子どものこころの発達センター特任准教授)

「脳腫瘍に対する覚醒下脳手術」

木下雅史(医薬保健研究域医学系講師)

「覚醒下脳手術による脳機能局在の解明」

中田光俊(医薬保健研究域医学系教授)

「気分障害を中心とした精神疾患のNIRSを用いた脳機能の検討」

小野靖樹(医薬保健研究域医学系助教)

「運動学習における脳活動特徴：近赤外分光法による脳血流計測」

小島治幸(人間社会研究域人間科学系教授)

「行動実験でラットの認知能力探る」

谷内通(人間社会研究域人間科学系教授)

後半の部 15:50~

「主観的エイジェンシー: 身体運動(歩行)の随意的始発」

パトリック・グリュエネベルク(国際基幹教育院GS教育系准教授)

「知覚情報の探索と注意制御からみる知覚-運動スキルの学習」

村山孝之(国際基幹教育院GS教育系准教授)

「運動巧緻性の評価を目指した上腕-手指間の運動連係機能調査」

木村岳裕(国際基幹教育院GS教育系准教授)

「高齢者の歩くことを支えるケア開発」

須釜淳子(新学術創成研究機構教授)

「無侵襲循環動態計測による高齢者の活動性と循環機能の関連性評価」

田中志信(理工研究域フロンティア工学系教授)

「骨格筋の代謝機能や再性能を亢進させる方策とは」

芝口翼(国際基幹教育院GS教育系助教)



問合せ: syougaiaku_kanazawa@yahoo.co.jp